

		[6]				[5]					[4]				[3]				[2]		[1]				大問
100	10	(省略)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)	(4)	(3)	(2)	(1)	(2)	(1)	(4)	(3)	(2)	(1)	解 答	
			6	4	4	4	各2	4	6	4	各2	4	4	3	3	3	各2	各1	4	4	4	3	配点		
		2 6				2 2				1 3				1 4		1 5				備 考					
		<p>・表記に関する誤り（文字、かなづかい、句読点、符号の使い方等）についても、右の基準を適用する。</p> <p>・表現に関する誤り（文法、文体、語句の意味、用法、主述の照応等）が三か所あるものは1点、四か所以上あるものは2点を減ずる。</p> <p>・二段落構成でない場合は1点を減ずる。</p> <p>・字数が百五十字未満、または二百字を超えた場合は1点を減ずる。</p> <p>※ 次の点にあてはまる場合は点数を減ずる。</p> <p>② 第二段落に、①の気づいたことをふまえて、自分の意見を書いている。</p> <p>① 第一段落に、重要な観点のうち二つを比較して、気づいたことを書いている。</p> <p>※ 次の二つの条件を満たしているものを正答とする。</p> <p>[6] ① 第一段落に、重要な観点のうち二つを比較して、気づいたことを書いている。</p> <p>[5] ③ 上記の例以外でも、条件を満たし、同じ内容であればよい。</p> <p>(6) 上記の例以外でも、条件を満たし、同じ内容であればよい。</p> <p>[4] ④ 上記の例以外でも、条件を満たし、同じ内容であればよい。</p> <p>[3] ③ 「は」でもよい。</p> <p>(4) 上記の例以外でも、条件を満たし、同じ内容であればよい。</p> <p>[2] ④ 上記の例以外でも、「木枯らし」を使った時候の挨拶として適切な内容であればよい。</p> <p>(4) 上記の例以外でも、「木枯らし」を</p> <p>[1] ① かな書きのものも、誤字、あて字があるものも認める。</p> <p>(2) 同じ内容であればよい。</p> <p>(1) 同じ内容であればよい。</p>																							